

# 令和3年度 大学予約奨学金について ～令和4年度進学予定者対象～

1. 奨学金とは
2. 奨学金の種類
3. 申請方法・注意点など

# 1. 奨学金とは

- 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金は国が実施しており、原則返還不要の**給付奨学金**と卒業後返還する**貸与奨学金**があります。
- 入学金、授業料、施設費などの学費やアパート代、食費などの生活費が足りない場合に借りるお金です。（**給付型は返還不要。**）
- 基本的に1か月に1回指定口座に入金されます。総額はとてとても大きい金額となりますので、**連帯保証人となる保護者ともよく相談した上で申し込んでください。**

- 今回の手続きはあくまで**予約**なので、進学後の正式な手続き（**進学届の提出**）をしないと、奨学金はもらえません。
- 進学してから手続きをする**在学採用**もありますが、安心して進学できるように**予約採用**をお勧めします。
- 総合型選抜や学校推薦型選抜などでは、12月くらいには入学手続きでまとまったお金を入金する必要があります。しかし、奨学金が支給されるのは入学後正式な手続きをしてからとなり、**早くとも4月下旬以降**になります。このような場合には**国の教育ローン（日本政策金融公庫）**などをお勧めします。

## 2. 奨学金の種類

### (1) 給付奨学金（返還義務なし）

**【第Ⅰ区分】 【第Ⅱ区分】 【第Ⅲ区分】 の3区分あり**

高等教育支援制度の一環として、入学後の入学金・授業料の減免制度をセットで受けられます。

### (2) 第一種奨学金（貸与型**無利子**）

最高月額あり

### (3) 第二種奨学金（貸与型**有利子**）

貸与月額：2万円～12万円まで、1万円刻み

### (4) 入学時特別増額奨学金（貸与型**有利子**）

貸与額（**一回限り、初回奨学金振込時に振込**）10万～50万円

# (1) 給付奨学金（返還義務なし）

- 貸与第一種、第二種、入学時特別増額との**併用が可能**。

★高等教育の支援制度の**給付型奨学金**について

## (1) 支援対象学校・実施時期

大学・短大・高専・専門学校のうち、国に申請し、認可された学校であること。全ての学校が対象ではないため、注意が必要（**特に専門学校**）貸与奨学金が対象でも、給付奨学金は該当しない学校もあり。

## (2) 対象者

### 1 経済状況

#### 1 - 1 所得要件

**※早わかりガイドP6 青色の給付型奨学金案内P5～6、8参照**

【第Ⅰ区分】住民税非課税世帯の者

※市町村民税所得割が0円（父母とも）

年収目安約271万円（4人世帯の場合）

生活保護世帯も含む

【第Ⅱ区分】住民税非課税世帯に準ずる者

年収目安約303万円（4人世帯の場合）

【第Ⅲ区分】住民税非課税世帯に準ずる者

年収目安約378万円（4人世帯の場合）

所得要件の金額は目安です。給付奨学金の受給を考えている者はまず、シミュレーターで確認してください。しかし、シミュレーターはあくまで目安なので、支給の可否はマイナンバーを利用した機構の審査で決定されます。可能性がありそうな場合は、とりあえず申請してみることをお勧めします。

## 1 - 2 資産要件

本人及び生計維持者の預貯金、有価証券等の資産の合計額が基準（**生計維持者が1人の場合1,250万円、2人の場合2,000万円**）以下であること

## 2 学業・人物にかかる要件

評定平均値 **3.5以上**、これに該当しない場合は、**レポート提出、面談**により学習意欲、進学目的等が認められること。

## 3 支給額（月額）

世帯の所得金額 に基づく区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200円（33,300円）	66,700円	38,300円（42,500円）	75,800円
第Ⅱ区分	19,500円（22,200円）	44,500円	25,600円（28,400円）	50,600円
第Ⅲ区分	9,800円（11,100円）	22,300円	12,800円（14,200円）	25,300円

※生活保護世帯及び児童養護施設等から進学する人は左表のカッコ内の金額となります。

## 4 選考

**機構にマイナンバーを提出して、経済状況の確認を機構がします。**

## 5 その他

- ①進学後に、別途手続きをすれば大学等における**授業料及び入学金減免**も対象となります。
- ②第一種奨学金（無利子）と併用する場合は、第一種奨学金の月額が制限されます。
- ③毎年度行う適格認定で、学業等の状況についての要件が課され、満たさない場合は支援が打ち切られます。経済状況についても継続、区分の見直し、打ち切りの判定をします。

【学業成績等：毎年春 家計：毎年秋】



## (2) 第一種奨学金（貸与型無利子）

- 給付、第二種、入学時特別増額との併用が可能。
- 返還方式：第一種の場合、**「定額返還方式」**か**「所得連動返還方式」**を**選択**します。
- 保障制度：**「人的保証制度」**か**「機関保証制度」**を選択します。
  - ①人的保証：連帯保証人（父・母）+保証人（叔父・叔母等）
  - ②機関保証：**連帯保証人、保証人が不要**で、その代わり保証機関に**保証料支払い**が必要。

(参考)

保証料は奨学金月額から天引きされます。例えば4年制大学に進学し、第一種奨学金を毎月4万円借りていた場合は、保証料月額1,262円となります。

※返還方式を「所得連動返還方式」にした場合は、保証制度は必ず「機関保証制度」になります。

- 推薦基準：人物、学力および資質、家計などの基準があり、日本学生支援機構が選考します。

### [学力についての基準]

① 評定平均値：**3.5以上**

② **3.5未満の場合**は、次のいずれかに該当すれば推薦可能。

ア：家計支持者（父母両方、ひとり親の場合では父か母）が住民税（市町村税）非課税

イ：生活保護を受給している

ウ：社会的養護を必要とする人

### [家計についての基準]

生計維持者の年収・所得金額から特別控除額等を引いた金額が、機構の「収入基準額」以下。

※家計基準の審査は機構がマイナンバーを使用して調べるので、学校で判断できかねます。

審査は、①給付型、②貸与型併用（一種＋二種）、③貸与型一種、④貸与型二種の順に厳しくなっています。

●貸与金額

進学先 奨学金の 種類等		大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
		国公立		私立		国公立		私立	
		自宅通学	自宅外 通学	自宅通学	自宅外 通学	自宅通学	自宅外 通学	自宅通学	自宅外 通学
第一種 奨学金	最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
	最高月額 以外の月額		40,000円	40,000円	40,000円		40,000円	40,000円	40,000円
		30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
		20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
第二種奨学金		20,000円～120,000円（10,000円単位）							
入学時特別増額 貸与奨学金		100,000円～500,000円（100,000円単位）							

※第一種奨学金「最高月額」の利用には、第一種・第二種併用貸与の家計基準を満たしている必要があります。

### (3) 第二種奨学金（貸与型有利子）

- 給付、第一種、入学時特別増額との併用が可能。
- 貸与月額：**2万～12万**まで、1万刻み
- 返還方式：**「定額返還方式」**
- 保証制度：**「人的保証制度」**か**「機関保証制度」**を選択
- 利率の算定：**「利率固定方式」**か**「利率見直し方式」**を選択

**利率は貸与終了時に決まります。**

※「利率見直し方式」は5年ごとに社会状況に応じて見直しがあります。

**(参考) 2021年1月に貸与終了した者の利率**

**固定：年0.233%      見直し：年0.002%**

**※国の教育ローン：年1.70%（母子父子家庭1.31%）**

- 推薦基準：**人物、学力および資質、家計**などの基準があり、日本学生支援機構が選考します。

[学力についての基準]

学年の平均水準以上等

[家計についての基準]

生計維持者の年収・所得金額から特別控除額等を引いた金額が、機構の「収入基準額」以下。

## (4) 入学時特別増額奨学金 (貸与型有利子)

- 給付、第一種、第二種との併用が可能です。
- 貸与額 (一時金、初回に入金)  
10万、20万、30万、40万、50万
- 条件：国の教育ローンを申込み、低所得等を理由に利用出来なかった世帯が対象
- **つなぎ融資：予約奨学金の決定は10月以降です。入学時特別増額の予約が確定していれば、労働金庫からその金額内で進学前に融資を受ける事ができます。**  
⇒ **入学手続金に利用できます。**

### 3 申請方法

まず茶封筒に入っている申込資料を確認してください。

- 1) 貸与・給付奨学金早わかりガイド
- 2) 貸与奨学金案内
- 3) 給付奨学金案内
- 4) 申込みのてびき
- 5) マイナンバー提出書（及び封筒内のチラシ・提出用封筒）

実際の手続きには、以下の3つの手続きが必要です。

- ①書類提出（確認書など）⇒生徒が学校担当者に提出
- ②スカラネット入力⇒生徒が日本学生支援機構サイトにアクセス
- ③マイナンバー提出⇒生徒が日本学生支援機構に直接郵送

・まず、**申込みのてびき**の中から「**様式集**」を取り出します。こちらが提出書類になります。様式集は**半分に切って**ください。これ以外の部分「I準備」「II申込内容」のページが**スカラネット入力の下書き**になっているので、事前に記入しスムーズに入力できるように準備します。不明な点があれば、スカラネット入力前に奨学金担当までご連絡ください。

(1) どの奨学金をどれくらい利用するか決める。

基準は給付型、貸与型併用、貸与型一種、貸与型二種の順に厳しくなっています。

選考は、給付型の可否及び、貸与は（併用、一種のみ、二種のみ、入学時特別増額）のどれが可能かを判断されます。



**希望する貸与奨学金の種類（申込区分）の選択が一番重要です。**

⇒ **申込みのてびきP10**参照

「進学届」を期限までに提出しなければ**辞退したもの**として扱われますので、お金に不安がある場合まずは申請してみてください。

申込時に選択した貸与月額は、**「進学届」提出時に変更できます。**

## （2）**生計維持者**の確認、家族の状況の確認

生計維持者（原則父母）の所得、自分の成績などを確認して、給付、第一種及び第二種が利用できるか確認してください。また、特別控除の対象になる家族の状況（療養中の人がいる、介護の必要な人がある、単身赴任をしている人があるなど）も確認し、**控除を希望する場合は**書類を提出してください。

(3) 貸与月額、入学時特別増額の利用、返還方式（一種のみ）、保証制度、利率の算定はどうするかを決める。

※これらは進学時（4月）の正式手続きで変更できます。

⇒詳細は、貸与奨学金案内P26参照

(4) 申込みのてびきのIII必要書類P22を見て、必要な書類を確認し、様式集の書類に記入する。

- ・提出書類一覧表（様式①）・・・全員提出
  - ・給付型奨学金確認書（様式②）
  - ・貸与型奨学金確認書（様式③）
  - ・収入確認書類・・・該当者のみ
- 希望する奨学金の確認書を提出

※2020年1月2日以降に就職・転職・開業した場合は提出が必要です。

また、保護者が年金を受給している場合も書類の提出が必要となります。

## (5) 書類の署名について

本人、父母**それぞれの自筆**の署名が必要です。**(今年度から押印不要となりました。)**

黒の**消せないボールペン**で記入してください。

住所は**省略せず**に記入してください。(住民票に関わらず、現在住んでいる住所を記入してください。)

記入を誤った場合は、**二重線で消し、近くの余白に正しく**書き直してください。

## (6) スカラネット入力の下書きをする

「Ⅰ準備」「Ⅱ申込内容」のページがスカラネット入力の下書きになっているので、事前に記入しスムーズに入力できるように準備します。不明な点があれば、スカラネット入力前に奨学金担当までご連絡ください。

(7) 下書きを見ながら、スカラネットでの申込入力

スカラネットの入力は、別紙に記載された「**生徒用識別番号（ユーザーID・パスワード）**」と、マイナンバー提出書に印字されている「**申込ID**」「**パスワード**」が必要です。入力が終わると、確認画面が表示されますので、入力に誤りがないか必ず確認してから送信してください。最後に受付番号が表示されるので、提出書類一覧表及び学校作成の「**スカラネット入力情報（学校チェック用）**」に記入します。

(8) 「**マイナンバー提出書**」の郵送

「**マイナンバー提出書**」（**黄緑の封筒**）のセットを使って、マイナンバーに係る書類を提出します。

- ①マイナンバー提出書の作成
- ②申込者本人の「**番号確認書類**」を用意  
⇒マイナンバーカードの**裏面のコピー**、もしくは**通知カード**のコピー（いずれもない場合は、**個人番号記載の住民票**の写し）  
申込者本人の「**身元確認書類**」を用意  
⇒マイナンバーカードの**表面のコピー**、もしくは**写真付きの学生証、パスポートなど**
- ③スカラネットで申し込み後、提出用の封筒（水色）を使って、**1週間以内**に郵便局の窓口から**簡易書留**で郵送

**注）マイナンバーに関しては、学校ではタッチできません。他人に教えたり、見せたりしてもいけません。保護者の元、提出書の記入、発送を行ってください。**

## (9) 確認書などを学校に提出

提出期限	スカラネット申込	申込書類の学校提出	提出先	選考結果の通知
1回目	4月23日(金) ～5月31日(月)	5月6日(木) 及び5月7日(金)	1号館1階 会議室	10月下旬予定
2回目	6月1日(火) ～6月30日(水)	6月30日(水)まで	1号館1階 事務室窓口	11月下旬予定

- ・ 特段の支障がない場合、採用候補者早期決定等の観点から、**1回目**での申請手続きをお願いします。
- ・ 提出期限は校内での締切日です。学校でチェックし、**不備があった場合には返却しますので速やかに訂正して再提出してください。**
- ・ 1回目で申請した場合、不備がなければ10月下旬頃に結果がきます。**決定通知書は絶対になくさないようにしてください。**

★申込みに関するお問い合わせ先★

- ・ 日本学生支援機構奨学金相談センター  
0570-666-301 (月～金 9:00～20:00)
- ・ マイナンバー提出専用コールセンター  
0570-001-320 (月～金 9:00～18:00)
- ・ 聖ウルスラ学院英智高等学校  
大学予約奨学金担当 齋藤・嘉代 (かしろ)  
022-286-3557 (月～金 8:30～17:00)  
E-MAIL: r-saito@st-ursula.ac.jp